

スポーツくじ



私たちはスポーツ振興くじ助成を受けています。

スポーツ振興くじ助成事業

第1回スノーボード（SS/BA）教室 開催要項

- 1 目的 スノーボード経験者やパーク経験者に向けて、エアマットを使った安全なジャンプトレーニングを実施し、広くジャンプの楽しさを伝え、スノーボード・スロープスタイル/ビッグエア競技の普及をする。
- 2 主催 公益財団法人全日本スキー連盟
- 3 期 日 ●令和5年8月5日（土）
●令和5年8月6日（日）
※いずれか1日の参加も可能
- 4 会 場 東北クエスト
〒989-1305 宮城県柴田郡村田町村田小池 277 TEL：080-6030-5046
<https://www.tohokuquest.com/>
- 5 内 容 スノーボード（SS/BA）エアマットジャンプ練習会
エアマットを使った安全なジャンプ練習を実施。
※状況により予定変更、または中止の可能性があります。
※各自治体や会場等のルールに則り、選手の安全を最優先に実施します。
- 6 運営スタッフ SAJ ナショナルチームスタッフ： 今井 勇人、西田 崇、上原 拓也
SAJ ナショナルチーム選手： 鬼塚 雅
サポートコーチ： 久保田 聖也（東北クエスト） ※敬称略順不同
- 7 スケジュール ●8月5日（土） 9時00分～13時00分
9：00～9：25 集合・ウォーミングアップ
9：30～13：00 ジャンプ練習
13：00 解散
●8月6日（日） 10時00分～13時00分
10：00～10：25 集合・ウォーミングアップ
10：30～13：00 ジャンプ練習
13：00 解散
※スケジュールは変更になる可能性があります。現場のスケジュールを優先してください。
- 8 参加資格 ・スノーボードSS/BA競技において強化指定選手を目指す者
・傷害保険に加入している者
- 9 参加料 無料

10 定 員 20名程度（最少催行人数5名）

11 申込方法 グーグルフォームより URL：<https://x.gd/unF01>

12 申込期間 8月2日（水）まで



13 感染症対策

- ・参加者は参加の7日前から健康である方のみご参加ください。
- ・体調に不安を感じる方の参加はご遠慮ください。
- ・手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ・その他、利用施設の基準に準じ、行動して頂きます。

14 傷害等処置 参加者にプログラム中、なんらかの体調不良や傷害が発生した場合は主催者側が応急処置を行います。それ以降は各自の責任において処置して頂きます。
新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、管轄の保健所へ連絡し、その指示を仰ぐこととします。

15 持ち物 スノーボード用具一式（ヘルメット必須）、同意書

16 その他 現地までの交通費、宿泊費、食費等は各自個人手配となります。

17 お問い合わせ 本事業に関するお問い合わせは以下よりお願い致します。
SAJ スノーボード スロープスタイル／ビッグエアチームコーチ 今井 勇人
E-MAIL：himai○kirarakamp.jp
※○を@に変えてください

◆2023/2024 シーズンのスノーボード（SS/BA）教室は別紙プログラム概要の通り開催を予定しております。他の日程にもご参照いただき、対象となるものがあれば是非ご参加ください。

同意書

参加に際しては開催要項の内容を理解し、いかなる保証についても主催者に求めないことに同意します。

本同意書は当日必ず持参し受付にご提出ください。

フリガナ		
参加者氏名		
フリガナ		
保護者氏名	印	
参加者との関係		
緊急連絡先 (携帯など)	① 参加者との関係 ()	② 参加者との関係 ()
メールアドレス		

2023/2024 シーズン スノーボード(SS/BA)教室プログラム概要

スノーボード スロープスタイル/ビッグエア競技において、普及から育成の健全なパスウェイ構築を目指す。

普及から育成までをスムーズに導き、地域の強化施設や優秀な指導者に引き継ぎ連携することで、非常に効率的な選手の育成が可能となる。

これは市場の拡大による選手数、タレント数の拡大を狙い、世界トップクラスの競技力を長く維持していくための取り組みである。

実施内容

第1回 競技の普及 ①	8月5日~6日	エアマットレッスン	@東北クエスト
第2回 スノーボードの普及	9月	スノーボード体験会	※場所日程調整中
第3回 競技の普及 ①	10月	エアマットレッスン	※場所日程調整中
第4回 スノーボードの普及	11月	スノーボード体験会	※場所日程調整中
第5回 競技の普及 ②	2月	大会	※場所日程調整中

スノーボードの普及

スノーボード未経験者に向けてスノーボードを疑似的に体験する機会を設け、多くの子供たちをスキー場へ向かってもらうきっかけとする。

●対応プログラム

ブラシエリアの特設による体験会

競技の普及 ①

スノーボード経験者やパーク経験者に向けてジャンプやボックスなど、次のステップとなるような遊び方、また少しレベルアップしたジャンプやトリックを練習する機会を提供する。そこでオフトレーニング施設を利用し、安心安全なレベルアップ環境の周知と普及を図る。

●対応プログラム

エアマット施設にて安心安全なジャンプ練習会

競技の普及 ②

競技練習経験者に向けて実際の競技機会を提供する。安全なコース設計で実力試しの機会を「大会」として設ける。

●対応プログラム

スロープスタイル大会の実施